

舞鶴市原子力災害住民避難計画

【概要版】（平成28年3月改正）

明倫小学校区（Dゾーン）

防災対策を重点的に充実すべき地域の範囲

◆ 予防的防護措置を準備する区域（PAZ）

高浜発電所から概ね5kmの地域（Aゾーン）

原子力発電所の事故が起きた場合、放射性物質の放出前に直ちに避難する区域

発電所	対象地域
高浜	松尾、杉山

※ PAZに準じた防護措置を行う地域

避難経路を考慮し、PAZに準じた避難等を行う地域（A-2ゾーン）

発電所	対象地域
高浜	大山、田井成生、野原

◆ 緊急時防護措置を準備する区域（UPZ）

- 高浜発電所から概ね30kmの地域（B～Fゾーン）
- 大飯発電所から概ね32.5kmの地域（A～Dゾーン）

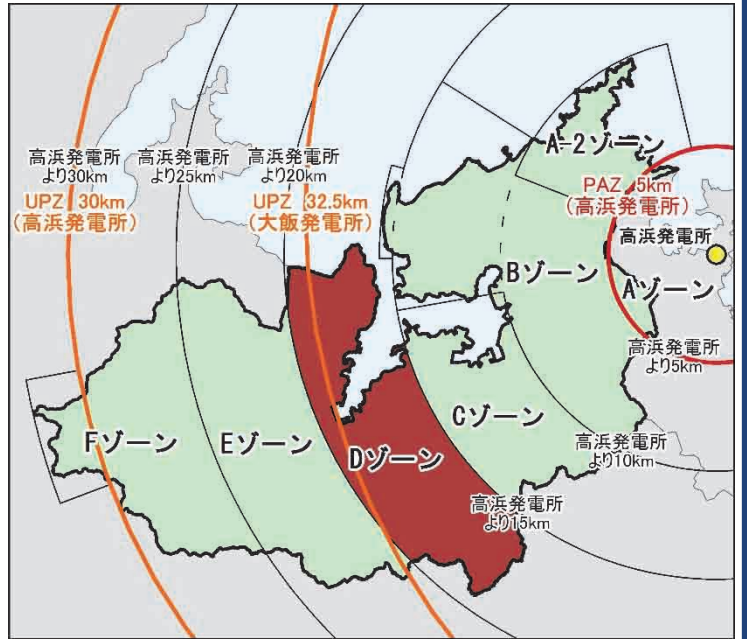
避難、屋内退避、安定ヨウ素剤の予防服用等の計画を事前に立てる必要がある区域

発電所	対象地域
高浜	舞鶴市域全域（松尾、杉山を除く）
大飯	大浦地区全域、東地区全域、中地区全域、西地区（野村寺、城屋、高野台、上福井を除く）、加佐地区（蒲江、油江、東神崎、西神崎）

※高浜発電所のUPZには、「PAZに準じた防護措置を行う地域」を含む

避難指示区域（ゾーン）

- 高浜発電所からの距離に応じて、概ね5kmごとに7つの避難指示区域（ゾーン）を設定し、段階的に避難を実施する。
- 大飯発電所の事故を想定したゾーンも、高浜発電所と同様とする。



避難中継所・避難先

舞鶴市

避難が必要な場合は、事故の状況や風向きなどを考慮し、西方面、南方面のどちらかに避難を行うか判断し、舞鶴市から連絡します。

必ず避難中継所に立ち寄りましょう

避難時には必ず避難中継所に立ち寄り、避難退域時検査、除染を受け、検査済証を受け取り、避難先へ向かいましょう。避難退域時検査、除染は避難者の健康被害の低減や避難先への2次汚染を防止するため、非常に重要です。

① 福知山市三段池公園<西方面、南方面>

福知山市猪崎377-1

② 長田野公園体育館<西方面>

福知山市長田野町2丁目

③ 京都府立丹波自然運動公園<南方面>

京丹波町曾根崩下代110-7

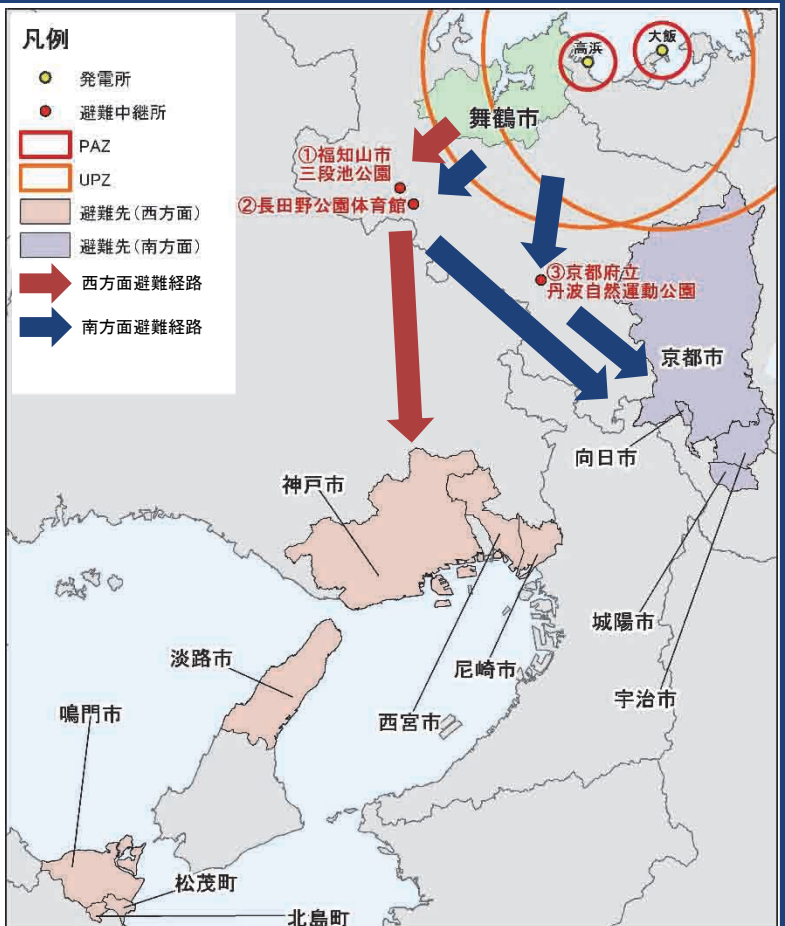
避難先

西方面(兵庫県、徳島県)	南方面(京都府)
神戸市、尼崎市、西宮市、淡路市 鳴門市、松茂町、北島町	京都市、宇治市 城陽市、向日市

※避難のイメージは4ページをご覧ください。

凡例

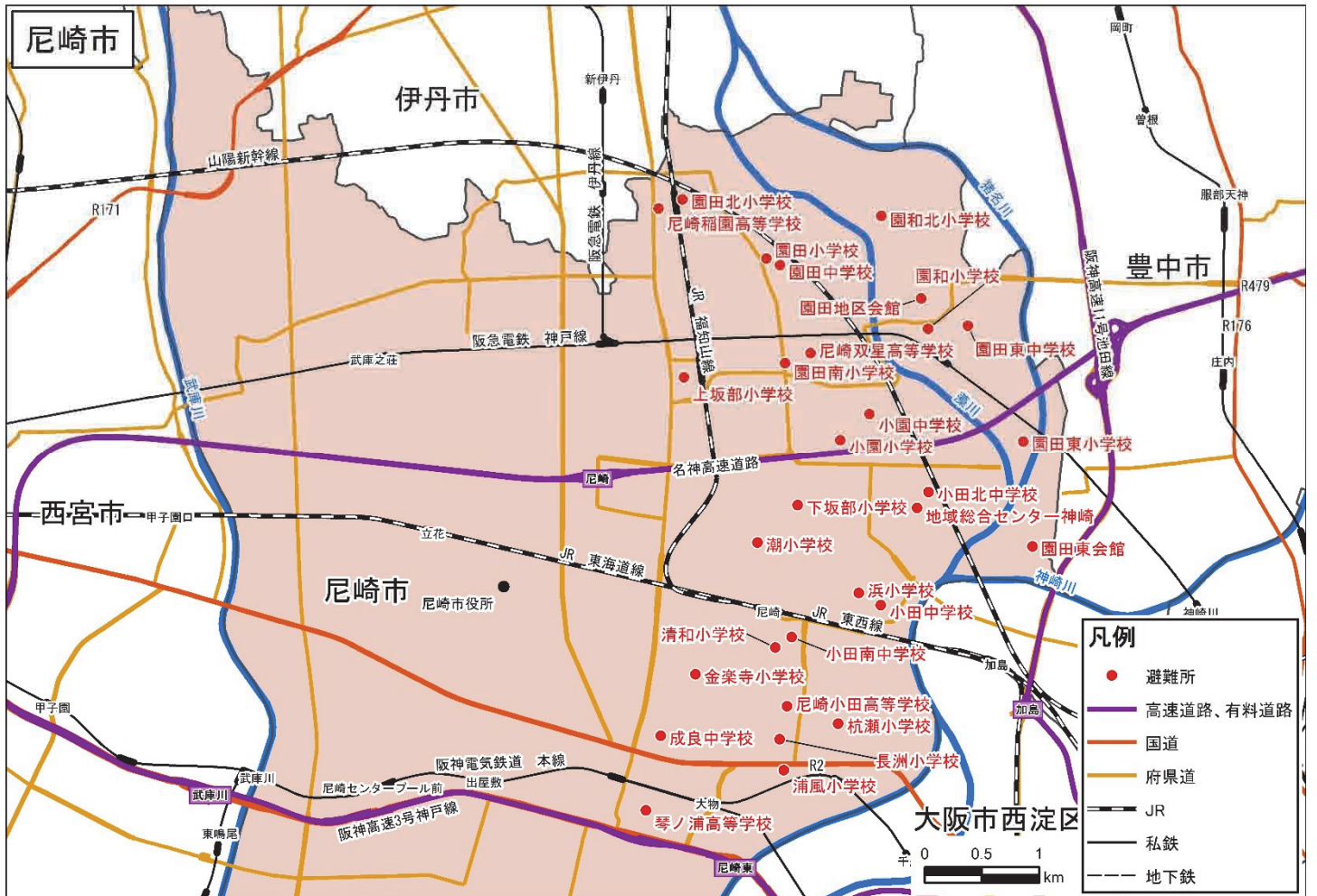
- 発電所
- 避難中継所
- PAZ
- UPZ
- 避難先(西方面)
- 避難先(南方面)
- ➡ 西方面避難経路
- ➡ 南方面避難経路



【西方面】明倫小学校区避難先マップ

ゾーン	自治会等	避難時 集結場所	避難 中継所	避難先 市町(区)名	拠点 避難所	避難所
D	本、職人、丹波、平野屋、竹屋	明倫小学校	福知山 三段池公園	尼崎市	-	●尼崎稲園高等学校
	クレインズコート					●上坂部小学校
	寺内					●園田北小学校
	松陰、港					●園田中学校
	島崎、宮津口、西					●尼崎双星高等学校
	新					●園田地区会館
	堀上、紺屋					●園和北小学校
	引土新					●園和小学校
	朝代、京口					●園田東中学校
	舞引土					●小園小学校
	真名井					●園田東会館●園田東小学校
	円満寺、駅前					●園田南小学校
	八幡					●園田小学校
	愛宕前、宮前	●小園中学校				
	ポレスター西	●下坂部小学校				
	魚屋	●小田中学校				
	魚屋住吉	●浜小学校				
	魚屋大森、大森海岸	●小田北中学校				
	大内	●地域総合センター神崎				
	大内南	●長洲小学校				
	南田辺、築地、相生	●尼崎小田高等学校				
	東田辺	●潮小学校●清和小学校				
	二の丸、駅前、西舞鶴合同宿舎	●金楽寺小学校				
	北田辺、三の丸	●小田南中学校				
	大内野	●杭瀬小学校				
	新生、向ノ丁、関西電力寮西、建青	城北中学校				●成良中学校
伊佐津団地西	●浦風小学校					
伊佐津北	●琴ノ浦高等学校					
伊佐津団地						

- 避難所については、施設の名称や住所の変更等の理由により、舞鶴市原子力災害住民避難計画（平成28年3月改正）から平成29年3月時点で一部修正している施設があります。
- 避難が必要な場合は、舞鶴市及び京都府が、まず避難先市町が被災していないか、避難施設が受入可能かなどを確認し、避難を実施することになります。

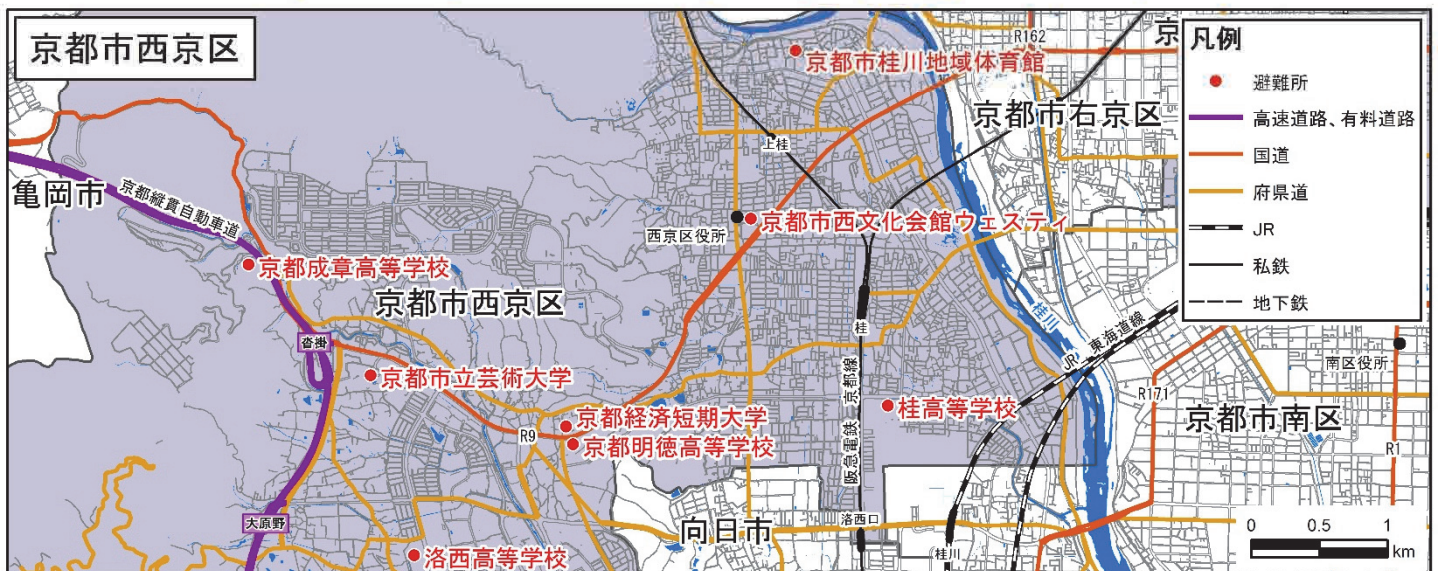
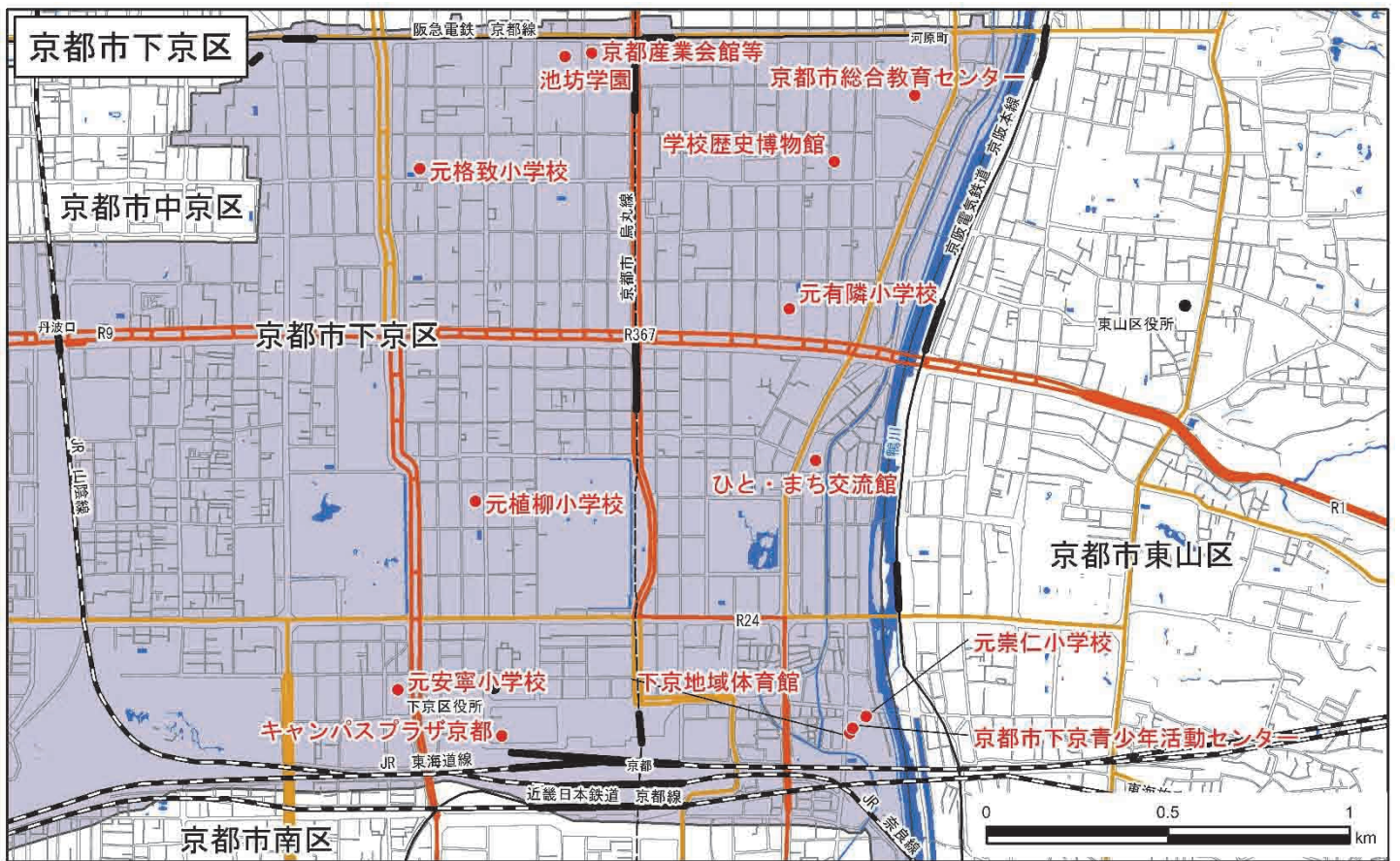


【南方面】明倫小学校区避難先マップ

ゾーン	自治会等	避難時 集結場所	避難 中継所	避難先 市町(区)名	避難所
D	本、職人、丹波、平野屋、竹屋 クレインズコート、寺内、松陰、島崎 港、宮津口、西、新、堀上、紺屋 引土新、朝代、京口、舞引土、真名井 円満寺、八幡、愛宕前、宮前、駅前 ボレスター西	明倫小学校	京都府立 丹波自然 運動公園	京都市 下京区	<ul style="list-style-type: none"> ●元有隣小学校●元安寧小学校●元植柳小学校 ●元格致小学校●元崇仁小学校 ●キャンパスプラザ京都●下京地域体育館 ●京都市総合教育センター●学校歴史博物館 ●京都市下京青少年活動センター●ひと・まち交流館 ●京都産業会館等●池坊学園 ほか
	魚屋、魚屋住吉、魚屋大森 大森海岸、大内、大内南	城北中学校			
	南田辺、東田辺、二の丸、北田辺 三の丸、築地、相生、大内野、駅東 新生、伊佐津北、伊佐津団地 西舞鶴合同宿舍、向ノ丁、関西電力寮西 建青、伊佐津団地西	城北中学校	京都市 西京区	<ul style="list-style-type: none"> ●京都市西文化会館ウエスティ ●京都市桂川地域体育館●京都市立芸術大学 ●京都経済短期大学●桂高等学校●洛西高等学校 ●京都明德高等学校●京都成章高等学校 	

●避難所については、施設の名称や住所の変更等の理由により、舞鶴市原子力災害住民避難計画（平成28年3月改正）から平成29年3月時点で一部修正している施設があります。

●避難が必要な場合は、舞鶴市及び京都府が、まず避難先市町が被災していないか、避難施設が受入可能かなどを確認し、避難を実施することになります。



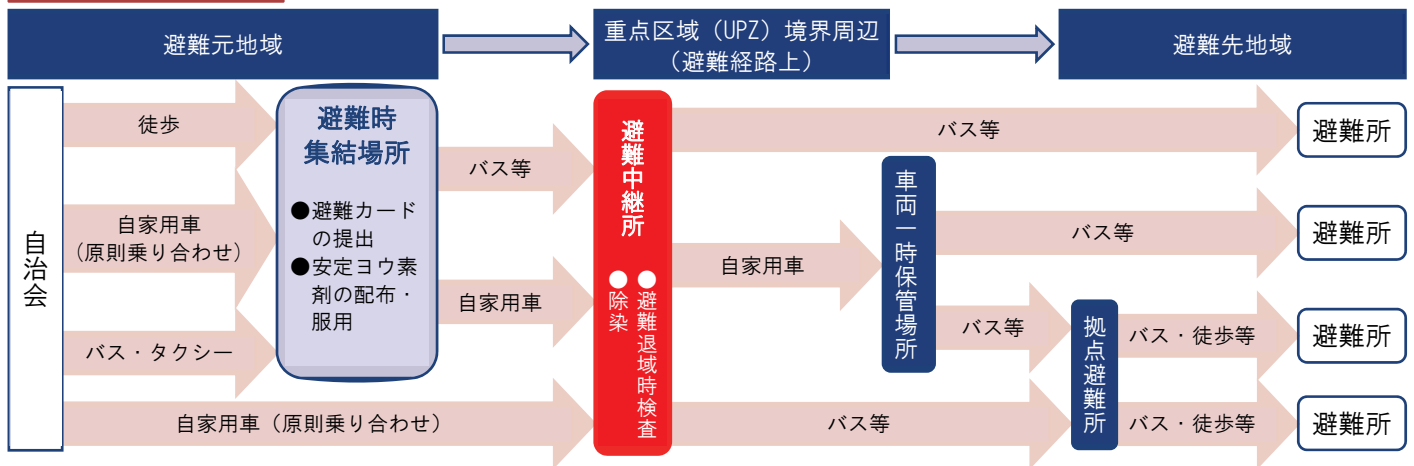
【避難等の考え方】

ゾーン	警戒事態	施設敷地緊急事態	全面緊急事態	放射性物質の放出
A A-2 (PAZ)	<ul style="list-style-type: none"> 外出を控える（帰宅） 要配慮者避難準備 観光客等は市外退去 	<ul style="list-style-type: none"> 要配慮者避難開始 住民避難準備 安定ヨウ素剤の準備 今後の指示・情報に留意 	<ul style="list-style-type: none"> 住民避難開始 安定ヨウ素剤の服用 	
B、C D、E F (UPZ)	<ul style="list-style-type: none"> 今後の情報等に留意 観光客等は市外退去 	<ul style="list-style-type: none"> 屋内退避準備 今後の指示・情報に留意 	<ul style="list-style-type: none"> 屋内退避 今後の指示・情報に留意 	【緊急時モニタリング】 <ul style="list-style-type: none"> ・20μSv/h（OIL2）※ → 1週間程度内に避難を実施 ・500μSv/h（OIL1）※ → 1日以内に避難を実施 ・安定ヨウ素剤の配布・服用

※OIL（運用上の介入レベル）…緊急時モニタリングの測定値等の実測された結果と照らし合わせて、住民への必要な防護措置（避難等）を実施するための基準

（注）大飯発電所で事故が発生した場合は、上段のA、A-2ゾーンはUPZとなりますので、下段のUPZの行動を行ってください。

避難のイメージ



Point

- 避難時集結場所等で避難カードを提出しましょう。
- 必ず避難中継所に立ち寄り、避難退域時検査、除染を受けましょう。
- 避難退域時検査、除染が完了したら検査済証を受け取り、避難先に向かいましょう。
- 自家用車での避難は、極力、地域で乗り合わせてください。避難先には保管場所が確保されていないので、避難中継所か車両一時保管場所にて保管してください。原則、避難先へ直接乗り入れることはできません。

【屋内退避時の行動】

- 建物に入る前に、衣服に付着しているちりやほこりを落としましょう。
- 外で着ていた衣服を脱いでビニール袋に入れるなど、放射性物質の拡散を防ぎましょう。



- 帰宅後は、顔や手を洗い、うがいをしましょう。
- すべての窓やドアを閉め、換気扇を止めて外気を遮断し、放射性物質の侵入を防ぎましょう。
- テレビ、ラジオ、防災行政無線、広報車などによる正確な最新情報に注意しましょう。
- 避難カードへの補足事項の記入や持出品（貴重品、携帯電話、常備薬、着替えなど）の準備をしましょう。

【避難時の行動】

- テレビ、ラジオ、防災行政無線、広報車などによる正確な最新情報に注意しましょう。
- 避難カードに記入漏れなどが無い、持出品に不足が無い確認をしましょう。
- 外部被ばくを軽減するよう、長袖、長ズボン、雨合羽、手袋、帽子などで肌や髪の毛をおおきましょう。
- 電気のブレーカーを切り、ガスの元栓を閉めるなど安全点検をしましょう。
- 戸締りを忘れずにしましょう。
- ご近所に声をかけ合い、落ち着いて避難時集結場所や避難中継所に向かいましょう。
- 放射性物質を体内に吸い込まないように、マスクをしたり、タオルやハンカチで口や鼻をおおきましょう。
- 家族全員が避難したら、避難完了の目印として玄関先などに白いタオルを掲げましょう。

